

WHO(世界保健機関)推奨

国際認証都市 セーフコミュニティさかえ

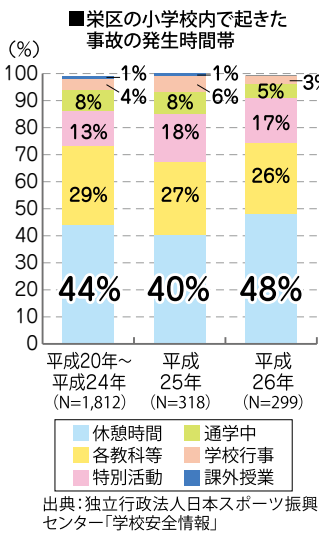


平成25年
認証取得

世界では約390都市、日本では15都市が認証を取得(平成30年2月現在)している、WHO(世界保健機関)推奨の国際認証「セーフコミュニティ」。セーフコミュニティの認証は、「誰かが負うかもしれない事故やけが」を予防している、「やさしいまち」の証です。なぜ栄区が「やさしいまち」「安全・安心なまちづくりが行われているまち」として認証されたのかをご紹介します。

▶セーフコミュニティは、8つのテーマごとに職域や分野を越えた人たちが集まり、「分科会」をつくって活動をしています。下記はそれぞれの「分科会」の活動の一例です。

1 | こどもの安全を守る 子ども安全対策分科会



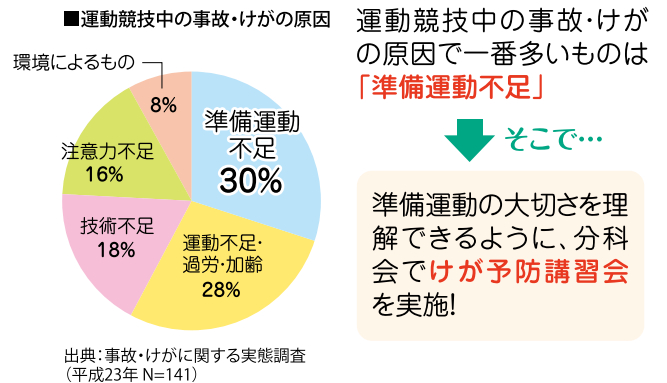
小学校内の事故(けが)が最も多い時間帯は、「**休憩時間**」



子どもが自分で危険を回避できるように、子ども会や放課後キッズクラブなどで、**KYT(危険予知トレーニング)**を実施!

★KYT…絵を見て予想される危険を話し合い、危険察知能力を向上させるためのトレーニングのこと。

2 | 運動競技中の安全を守る スポーツ安全対策分科会



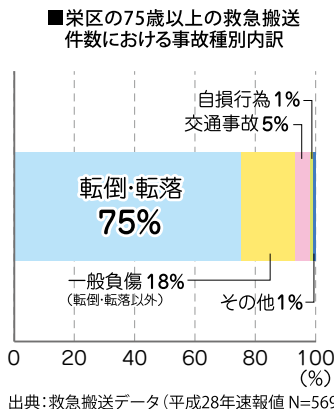
運動競技中の事故・けがの原因で一番多いものは「**準備運動不足**」



準備運動の大切さを理解できるように、分科会で**けが予防講習会**を実施!

★けが予防講習会…整形外科や整骨院の先生を講師に招き、スポーツ時の準備運動の大切さなどを教える講習会。

5 | 高齢者の安全を守る 高齢者安全対策分科会



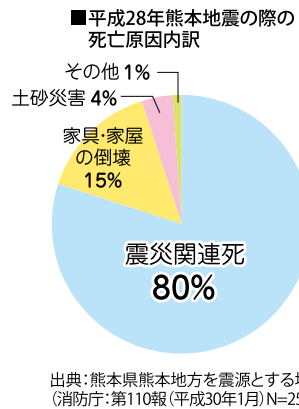
栄区の75歳以上の救急搬送のうち、最も多い事故種別は「**転倒・転落**」



転倒・転落予防や介護予防のため、**転倒予防体操の開発と普及**を実施!

★転倒予防体操…健康運動指導士の監修のもと作成した、運動習慣のない方でもやさしく簡単にできる体操です。転びにくい、転んでも骨折しにくいからたづくりを目指します。

6 | 災害時の安全を守る 災害安全対策分科会



平成28年に起きた熊本地震の際、亡くなった方の死亡原因として最も多かったのは「**震災関連死**」



災害時の震災関連死等避難後の死者を減らすため、分科会で**実践的な防災拠点訓練**を実施!

★実践的な防災拠点訓練…長期の避難生活を想定した区割り訓練や炊き出し訓練等、地域防災拠点が機能するために必要な訓練のこと。

※セーフコミュニティのデータは分科会で収集したデータのため、統計データと異なることがあります。

セーフコミュニティって？

日常生活を送る中で、交通事故や犯罪、小さな子どもや高齢者の転倒・転落など、時には命の危機につながるような重大な事故やけがも発生します。セーフコミュニティは、事故やけがの原因をデータを使って究明し、地域の力で予防しながら、安全・安心なまちづくりをおこなっているコミュニティに与えられる国際認証です。

活動のポイントは3つ！

栄区が誇る地域の力
地域の皆さまの様々な活動を中心に、安全・安心なまちをつくりあげています。

安全・安心の見える化
安全・安心を複数のデータを使って「見える化」し、取組を改善しています。

国内外の都市とのネットワーク
国内外の認証都市と交流し、安全・安心のネットワークを広げています。

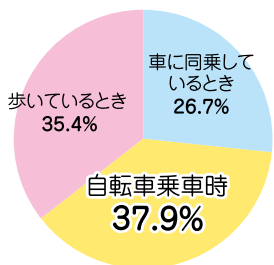


それぞれの取組は、**PDCAサイクル**を使って、継続的に取組を改善しているんだって！

PDCAサイクルとは
Plan (計画) → Do (実践) → Check (評価) → Action (改善) を繰り返すことで、取組を継続的に改善していく仕組みです。

3 | 交通事故から身を守る 交通安全対策分科会

■子どもの交通事故の当事者種別 (平成23年～平成28年)



出典：栄警察署 (N=161)

15歳以下の子どもの交通事故が最も多いのは「**自転車乗車時**」

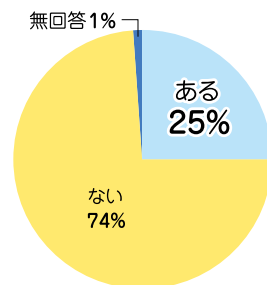
↓ **そこで…**

子どもの自転車乗車時の頭部へのけがを軽減するため、分科会で**自転車ヘルメット着用啓発の取組**を実施！

★自転車ヘルメット着用啓発の取組…区内自転車販売店の協力を得て、割引特典付きヘルメット着用チラシを配布しています。

4 | 子どもの健全育成 児童虐待予防対策分科会

■子どもの世話をした経験の有無



出典：横浜市子ども・子育て支援事業計画の策定に向けた利用ニーズ把握のための調査 (未就学児保護者・平成25年度・N=31,374)

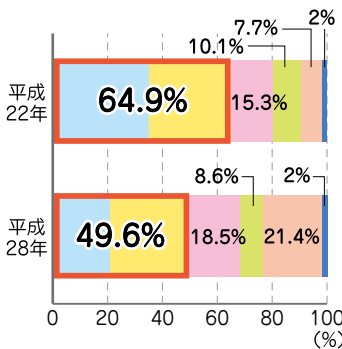
自分の子どもが生まれる前に赤ちゃんの世話をしたことがある人の割合は**約25%**

↓ **そこで…**

次世代(小中学生)が赤ちゃんと接する体験をする場を作るために、分科会で**乳幼児ふれあい体験**を実施！

★乳幼児ふれあい体験…次世代を担う小中学生が赤ちゃんとその親と交流することにより、子育ての楽しさや大切さを学ぶ場を提供する取組。

7 | 自殺を予防する 自殺予防対策分科会



悩みやストレスを感じたときに、誰かに助けを求めたり、相談したいと考えている人の割合は**約50%**

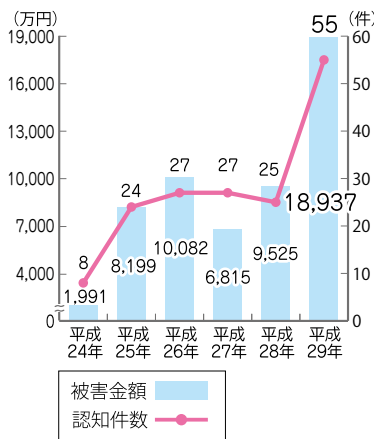
↓ **そこで…**

身近な人同士お互いに変化に気づく、話を聞く、相談機関につなぐ意識を高めるために、分科会で**ハートフルサポーターの取組**を実施！

★ハートフルサポーター…自殺予防の担い手(ゲートキーパー)を育成し、ハイリスク者を救う人材を増やすことで、自殺者数の抑制につなげます。

出典：こころの健康に関する市民意識調査 (横浜市 N=1,431 平成28年度)・自殺に関する市民意識調査 (横浜市 N=2,634 平成22年度)

8 | 犯罪の発生を防ぐ 防犯対策分科会



栄区で近年増加している、振り込め詐欺の平成24年と平成29年の被害金額を比較すると、**およそ9.5倍に増加**

↓ **そこで…**

振り込め詐欺の被害を減らすために、分科会構成メンバーで**振り込め詐欺の被害者層への啓発**を実施！

出典：栄警察署

★振り込め詐欺の被害者層への啓発…振り込め詐欺の被害者層である高齢者を対象に講座・講演を実施することで、振り込め詐欺に対する意識を深め、被害拡大を防止します。